

令和7年度 第3回学校運営協議会議事録

さいたま市立仲本小学校

1 日時・場所 [日時] 令和8年2月16日(月) 10:00～11:55
[場所] 会議室

2 出席委員 青少年育成仲本地区会会長
本太2丁目自治会長
東仲町自治会副会長
仲本小学校同窓会会長
仲本小学校PTA会長
原山中学校PTA副会長
仲本小学校PTA副会長
前地3丁目自治会長
仲本小学校校長
仲本小学校教頭
仲本小学校主幹教諭
学校地域連携コーディネーター
仲本小学校事務主幹
欠席委員 前地自治会長

3 次第

・校内授業参観

(1) 開会宣言・挨拶(委員長)

(2) 学校の自己評価の結果について

- ・挨拶及び学校自己評価システムシート説明(校長)
- ・学校の自己評価説明(主幹教諭)
- ・学校運営協議会委員の評価説明(教頭)

(3) 学校の自己評価について(委員長)

- ・質疑応答
- ・まとめ

(4) 熟議

(5) 令和8年度学校運営について

- ・令和8年度の学校運営の基本的な方針説明(校長)
- ・令和8年度の年間行事計画説明(主幹教諭)

(6) 令和8年度の学校運営方針等についての仮承認

(7) 諸連絡

(8) 閉会宣言 (委員長)

4 議事概要

(2) 学校の自己評価について

- ・学校に地域の関係の掲示板ができたことで連携が深まった。
- ・地域からの情報提供を行い、連携を深めたい。

あいさつについて

- ・学校外でのあいさつが少ない。地域から声をかけないとあいさつができない。
- ・通学班の集合場所等で、子ども同士でのあいさつが少ない。
- ・コロナの時に大声を出さないようにしたのも原因か。

等のあいさつに関する意見

○これらの意見をもとに、学校運営協議会による評価書を作成することを確認

(4) 熟議について

第一回・第二回学校運営協議会の内容を受け、
「本年度の取組から、来年度の工夫改善に向けて」

以上について、各グループで熟議（11：00～11：30）を行い、発表

グループ1

<主な意見>

- ・それぞれの団体での行事に多くの参加があり成果が上がった。
- ・自治連合会の運動会・ラジオ体操・盆踊りなどで、多くの参加者があり、大変盛り上がった中でふれあいを深めることができた。
- ・親子火の番体験など親子で参加し、地域のために協働する活動にも参加者がたくさんあり、来年度も取り組みを充実させていく。
- ・もう少し元気なあいさつできるようになってほしい。あいさつについてはコミュニケーションの第一歩という側面と防犯上の効果の側面がある。

グループ4

<主な意見>

- ・掲示板、自分発見チャレンジさいたまの活用を通し、地域の行事に多くの子どもが参加した。
- ・PTAの行事ではポスターを作成する等情報発信に努めた。

- ・来年度は本年度以上情報発信のツールを有効に活用する。
- ・情報発信の方法をSNS、児童による呼びかけ、児童会、PTA広報等を活用して向上させていく

グループ3

<主な意見>

- ・自分発見チャレンジさいたまの周知がまだ十分ではない。地域の方・保護者に情報発信が必要。子どもたちも参加した子どもの2割程度しか手帳・パスポートを活用していない。
- ・掲示板と合わせ、スクリレ、子供会のライン連絡網、児童会の呼びかけ、クラスでの呼びかけ等さまざまな方法で情報発信を行うことが重要。
- ・地域の行事等に参加して地域の方とともに触れ合ったり活動したりする良さ広める活動を児童会で取り組んでいく。

グループ4

- ・掲示板は情報発信にとっても効果的だった。
- ・育成会「ひなまつり三世代ふれあい会」は大変すばらしい会だった。保護者が参加できるように考えるとさらにふれあいが深まる。
- ・子どもに伝わるような情報発信の方法を工夫する。

上記意見を受け、

- ・来年度は各団体で本年度の成果をもとに、さらに一步進める取り組みを計画するとともに子どもたち、地域、保護者に対するさまざまな方法の情報発信の充実に取り組んでいく。
- ・あいさつについては、コミュニケーション、防犯の両面から考え、継続して取り組んでいく必要がある。

以上を確認

(4) 令和8年度学校運営について

- ・校長が令和8年度グランドデザインをパワーポイントにて令和8年度の学校運営の基本的な方針を説明
- ・主幹教諭が令和8年度の年間行事計画を説明

以上の説明により、令和8年度の学校運営方針の仮承認を委員長が確認

5 諸連絡

6 閉会宣言